

韓日国交正常化50周年を契機に 国際社会での信頼できるパートナーへ

日韓友好の懸け橋に――。駐名古屋大韓民国総領事館の朴煥善総領事が今秋、退官する。日本勤務通算八年のうち名古屋駐在三年。昨年が「日韓国交正常化五〇周年」の節目で、総領事として両国友好のために奔走し、大きな成果を上げた。誠実、温厚な人柄で当地にも幅広い人脈を築いた総領事。三五年の外交官生活、友好に懸けた思いを聞いた。

――名古屋に赴任した時の思いを。

朴 次の任地が名古屋に決まり、名古屋や東海地方に関する本や資料を手当たり次第に読みながら自分なりの準備をしました。忙しかったことが昨日のことで、着任後はあつという間の三週間でしたね（笑）。

名古屋に来る前に日本の知人から、アドバイスを受けました。厳しい猛暑と県民性というか気質や

東海地方の雰囲気に関するものでした。赴任した直後の十一月二日に栄の公園を五〇〇mほど歩いて汗をかいて驚きました。韓国なら零下の日も近い季節ですので。気質などへの忠告は、東海地方の人々と付き合うのは難しいというものでした。赴任前には、相当気にしましたよ。しかし、実際に生活してみても、常日頃お会いする東海地方の方はいつもフレンドリーで思いやりのある人ばかり。

結局、私の心配は杞憂に過ぎず、アドバイスは間違いでした。いま思い出すと、恥ずかしいです。あと、本などで読んだ道路の広さ、名古屋走り”の情報は正しかったですね（笑）。

――日本での外交成果、強く印象に残ったことは。

朴 昨年、韓日国交正常化五〇周年を迎えたことでしょう。韓国と日本は、お互いの交流の歴史が長いこともあって、両国の間には負の遺産が残っています。しかし、半世紀前に、国同士の関係を正常化することで未来に向けての一步を踏み出し、これを機に交流を重ね、今日の安定的な友好関係を築いたわけです。このように大切な

国交正常化五〇周年を名古屋総領事として迎えたことは、非常に光栄でした。

特に、愛知県や名古屋市をはじめ多くの自治体、様々な市民団体、また在日民団の皆さんからの惜しみない協力と温かい声援のもとに、記念イベントや多彩な催しを行いました。年間二〇件ほどで、いずれも成功裏に終わることができました。改めて感謝します。韓日関係の節目の時に皆さんにお会いできたことは、総領事としても、とてもラッキーでした。

総領事として両国友好への思いや意気込みを、講演会など機会あるごとに積極的に発信しようと思ってきました。その際、多くの方に共